

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構（JANPIA）
第 49 回理事会（決議省略）議事録

1. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第 1 号議案 審査会議委員の選任の件

＜議案の概要＞

審査会議の客観性、実効性を確保するために、外部有識者 10 名を委員として選任（再任）としたい。審査会議委員については、審査会議規則にて任期を 1 年と定めているところであるが、制度 5 年目の見直しの節目となる本年度資金分配団体公募の事業選定において、過年度採択事業の進捗状況等も踏まえた深度ある審査の実施を想定していることなども考慮し、これまで審査実務に従事してきた現任の審査委員による選考を行うことが、本目的に合致するものと考えられることから、今回の任期（2022 年 7 月末）満了にあたり再任とする。

現在、将来における審査委員候補者のリストアップを進めており、この中から当該者との交渉を経て応諾に至った場合には、まずは随時公募の審査枠における審査委員として、現任の審査委員とともに審査に従事いただきつつ審査に関するこれまでの経緯の共有や審査ノウハウ等の知見の共有を図っていくこととしたい（審査委員候補者の選任については、別途、理事会にて協議予定）。

草の根活動支援事業、災害支援事業（5 名）（敬称略・順不同）

氏名	所属等
深尾 昌峰	龍谷大学 副学長・政策学部 教授
山内 明子	生活協同組合コープみらい 執行役員
山内 亮太	株式会社 ESCCA 代表取締役
米田 佐知子	子どもの未来サポートオフィス代表、関東学院大学非常勤講師
菅野 拓	大阪市立大学大学院文学研究科 准教授

イノベーション企画支援事業、ソーシャルビジネス形成支援事業（5 名）（敬称略・順不同）

氏名	所属等
高原 康次	グロービス経営大学院 講師、 一般財団法人 KIBOW インベストメント・プロフェッショナル
功能 聡子	ARUN 合同会社代表
永沢 映	NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事
町井 則雄	株式会社シンカ 代表取締役社長、 一般財団法人 森から海へ 専務理事 他
治部 れんげ	東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 准教授、ジャーナリスト

第 2 号議案 専門家会議「評価検討部会」委員の選任について

＜議案の概要＞

専門家会議の評価検討部会は、JANPIA の総合評価の進め方について意見を伺うことを目的として設置をしていたところ、2020 年度、2021 年度の 2 カ年に渡り現任の委員各位との意見交換を重ねて総合評価方針を策定するに至り、現在においてはそれに基づいた総合評価の作業を事務局にて実施中である。

以上の経緯もあり、本部会で取りまとめた方針に基づいた総合評価の結果のレビュー等を進めていくにあたり、引き続き本部会委員との連携が欠かせないことから、今回退任の申し出のあった1名を除いて全員再任とする。

●部会委員一覧（敬称略）

氏名	所属等
佐藤 大吾	特定非営利活動法人ドットジェイピー理事長 一般財団法人非営利組織評価センター 理事長 武蔵野大学アントレプレナーシップ学部教授
源 由理子	明治大学 副学長、明治大学専門職大学院ガバナンス研究科 教授
大島 巖	東北福祉大学副学長・教授、日本評価学会会長
西野 桂子	関西学院大学総合政策学部・総合政策研究科教授

※佐藤氏、源氏の2委員は専門家会議委員を併任

2. 理事会の決議があったものとみなされた事項を提案した理事の氏名

理事長（代表理事）二宮 雅也

3. 理事会の決議があったものとみなされた日

2022年8月1日（月）

4. 議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名

理事長（代表理事）二宮 雅也

2022年7月28日（木）、理事 二宮雅也が理事および監事の全員に対し、理事会の決議の目的である事項について、上記の内容の提案書を電磁的記録によって発送した。当該理事会の決議の目的である事項につき、2022年8月1日（月）17:00までに、理事の全員が書面または電磁的記録により同意の意思表示をし、監事の全員から電磁的記録により異議を述べない旨の確認書の提出を受けたので、当機構定款第44条および理事会規則第10条に定める「決議の省略」の規定に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

以上の通り、理事会の決議があったものとみなされたことを明確にするため、この議事録を作成し、議事録の作成に係る職務を行った理事が記名押印する。

2022年8月1日

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

理 事 長 二 宮 雅 也